

公益社団法人 玉川法人会 「新年ご挨拶」

会長 坂東 義治

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、コロナ禍で厳しい事業運営を強いられている昨今ですが、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、一昨年と続いたコロナ禍では、多くの会員企業の皆様において過去に経験しない未曾有の試練が発生し、翻弄され続けた2年間であったことと推察いたします。

玉川法人会においても公益社団法人の冠を頂きながら計画された多くの公益事業が中止や延期の憂き目となりましたが、一方では、理事会等の決議機関においてもリアルだけではなくリモートによる決議が可能となりました。試行錯誤の最中ですが、各種公益事業においてもリアルとリモートを併用した運営を始めており、各種セミナーやイベントの開催へと活用の範囲を広めております。

オミクロン株の出現により感染症の第6波の発生が懸念されている昨今ですが、新型コロナウィルスの出現から私たちが学んできた多くの感染症対策を実践すると共にそれぞれの企業において取り組み始めた施策を更に深化させることができ、新たな飛躍の原動力となるのではないかと思います。

新年が会員企業の皆様にとって飛躍の年となります様ご祈念申し上げまして
新年のご挨拶とさせて頂きます。